

「台原森林公園をまるごと楽しもう」

旭ヶ丘市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

「台原森林公園の地図が欲しい」と問い合わせがあった際に古い地図しかなく、利用者に渡すことができませんでした。そこで、台原森林公園を散策し地域の自然を知り、いずれは森林公園の魅力を発信することを目指し、令和4年度に地域の魅力・自然に着目する講座としてスタートしました。散策・講話・自然素材を使った工作などを通し、森林公園の魅力を再認識し、環境について考える機会となりました。令和5年度に散策内容をまとめる過程で「学んだことを発信したい」という意見から、令和6年度より本格的に地図を作成することになりました。



2 令和6年度の活動



令和6年度は5月から2月までの全10回を予定しています。どのような地図がよいか方向性を共有し、実際に散策しながら東屋や案内版、水飲み場などを確認しました。改めて細かく確認していく中で「こういうものがあったら良い」、「ここを直して欲しい」という意見が出され、台原森林公園に対する企画員の深い思いを感じました。また、等高線付きの地図を参考にしたいという企画員の声から、東北大学オリエンテーリング部の大学生を講師としてお招きし、地図の話だけでなく普段の活動

や作成する地図にどんな項目があったら嬉しいかなど、若い世代の意見を参考にする場となりました。これまでの活動を受け、幅広い世代が楽しめる地図を目指して作成を行っています。

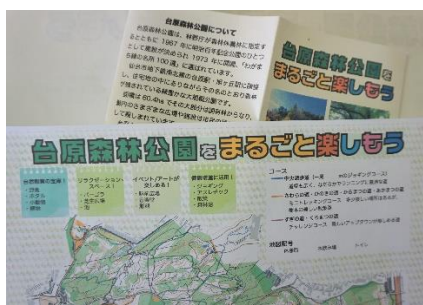
3 成果と課題

成果：散策や講話、工作などを通し、台原森林公園の魅力を体感していく中で、自主的に学んだことをまとめたり、積極的に地図作りをしたりする企画員がおり、講座中だけではなく、講座以外での学びにも繋がっているのが大きな成果だと考えています。

課題：作成中の地図が企画員の単一的な視点に偏らずに作成することで、どの年代にも喜ばれるように、内容・レイアウト・フォントにこだわって作成していきます。



4 今後の展望



地図完成後は窓口での配布に加え、地図のお披露目を兼ねた散策会を行う予定です。それらの活動を通し、地図の活用と台原森林公園の魅力を発信していきます。台原森林公園の四季折々の自然を感じ、公園の魅力を知った企画員が、その魅力を知って欲しいという思いから地図を作りますので、ぜひ様々な方に地図を片手に台原森林公園を散策してもらいたいと考えています。